



2021 年 11 月 16 日

株式会社 JMDC

株式会社 flixy

現役医師が開発！医師が本当に欲しい薬剤比較アプリ「イシヤク」、

リリースから 4 カ月で **1 万ダウンロード** を達成

～大型アップデート「専門医コメントの掲載」「薬剤評価コメント投稿機能」を実装～

株式会社 JMDC（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：松島陽介、以下「JMDC」）の子会社である株式会社 flixy（本社：東京都港区、代表取締役医師：吉永和貴）は、本年 7 月にリリースした医師向け薬剤比較（※）アプリ「イシヤク」がこの度 1 万ダウンロードを達成しました。またユーザーからの要望が高い「専門医コメントの掲載」「薬剤評価コメント投稿機能」を実装したことをお知らせいたします。

※添付文書等に記載された効果又は効能を同一とする医薬品について、添付文書等に記載された他の情報の比較を行うことをいい、2 以上の医薬品間について特定の医薬品が優良であることを示すものではありません。

■1 万ダウンロードの達成

「イシヤク」は、リリースした 7 月以降、1 日あたり平均 80 のユーザーを拡大し、足元では本アプリの趣旨に賛同いただきました各診療科の専門医グループの協力を得てコンテンツの充実を推し進めるなかで、1 日 200 以上のユーザーを獲得するなどユーザー規模の増加が加速しております。

今後は、8 月に JMDC グループに参画したアンター株式会社のプラットフォーム上に集った 3 万 5 千人を超える医師に対し、「イシヤク」の薬剤に関連する疾患ナレッジを紹介することで、医師の臨床力を高めるための連携を促進し、医師同士のナレッジ共有をより一層加速させてまいります。



■今回のアップデートの内容

1. 専門医コメントの掲載

各疾患の薬剤の使い方や特徴に関して、知見を持つ専門医の間では広く認識されていることでも、非専門医におかれては当然に認識できていない情報が多くあります。こうした情報は、一般に知りうる情報より深く鮮度が高いものであり、最新の文献を読み込むなどをしなければ得ることは難しいと考えています。

今回、「イシヤク」では、本アプリの趣旨に賛同いただきました各診療科の専門医グループの協力を得て、専門医の最新の知見をコメントとして記載していただくこととなりました。これにより従来の特徴文に加え、より専門的な知見からその薬剤について深く理解していただくことが可能となりました。

また、専門医コメントには執筆者である先生の「診療科」「お名前（ハンドルネーム）」「Twitter リンク」を記載し、また「シェア機能」を搭載しております。より深い情報を収集される場合には、Twitter リンクを押下いただくことで、ご協力いただきました先生方と Twitter でつながることで、コメントのフィードバックやフォローが可能となっています。

デエビゴ

専門医コメント

デエビゴは、耐性と依存性のリスクが極めて低い薬剤である。デエビゴは、睡眠に強く関与すると考えられているオレキシン2受容体の阻害が強く、ベルソムラより睡眠効果が強いと想定されている。

精神科 [@メンツ](#)

[シェアする](#)

ジャディアンズ

専門医コメント

日本では心不全、慢性腎臓病での適応はまだだが、左室駆出率が低下した患者を対象とした臨床試験で状態を改善させることが初めて証明された。心不全の承認が通れば心不全患者への使用が増加すると思われる。

糖尿病内科 [舞浜太郎](#)

[シェアする](#)

コララン

専門医コメント

欧州心臓病学会の2016年心不全ガイドラインでは、RA系阻害薬、β遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬などを用いても、洞調律で心拍数が70回/分以上のLVEFが低下したHFrEF患者に対して、コラランを追加することがクラスIIaで推奨されている。

循環器内科 [ドクターU](#)

[シェアする](#)

ビレーズトリ

専門医コメント

エアゾール製剤のICS/LAMA/LABA3剤合剤でCOPDに適応がある。気管支喘息には適応がなく、COPDではICSをあまり積極的に投与しないため、実際には気管支喘息とのオーバーラップを疑うようなCOPDに用いることが多い。

呼吸器内科 [Dr.心拍](#)

[シェアする](#)

アミティーザ

専門医コメント

腸管内への水分分泌を促進するという点では酸化マグネシウムなどの塩類下剤と似た作用を持つが、本剤が小腸、塩類下剤が大腸に作用するという点で異なる。また酸化マグネシウムが腎機能低下患者や高齢者において高マグネシウム血症のリスクがあるのに対して、本剤は同患者にも使用しやすい。ただし酸化マグネシウムと比較して薬価が高いこと（アミティーザカプセル24μg1カプセル 116円）は留意すべきである。

消化器内科 [くるとん](#)

[シェアする](#)

グラナテック

専門医コメント

PG関連薬やβ遮断薬などを用いても進行する緑内障に対して用いている。半数以上に結膜充血が生じるが、その他緑内障点眼ですでに充血を生じている方が少なくないため、あまり気にされない方も少なくない。

眼科 [ドクターK](#)

[シェアする](#)



ネリゾナ

専門医コメント

II群の中では比較的弱い、副作用も少ない。ネリゾナの特徴として、剤型が豊富である。ユニバーサルクリームとクリームの違いは水分含有量。ユニバーサルクリームは軟膏に近く、刺激感がより少ない。クリームの方が伸びが良いが、刺激を感じることもある。ソリューションは透明な液体のことで、化粧水のような使用感である。

皮膚科 **ボブ**
シェアする

テグレートール

専門医コメント

副作用の多さや、誤って全般でんかに投与すると症状が悪化する可能性もあり躊躇されがちだが、てんかんの7割以上は部分でんかんであるため投与を検討すべき薬剤ではある。投与初期の頭痛・眠気・ふらつきのせいで脱落する患者も多いが、肝で酵素誘導が起きるようになり血中濃度が下がるので、数日で次第に慣れることを事前に説明した方がよい。慣れるためにもごく少量からの漸増が望ましい。また、酵素誘導が起きることを加味すると、いったんTDMが治療域に入っても低下することがあるのでTDMのフォローも必要である。

神経内科 **puruco**
シェアする

ディナゲスト

専門医コメント

もともとは内膜症治療薬として使用されてきたが、低容量で月経困難症に対する保険適応も獲得した。低用量ピルのエストロゲン作用による副作用がないため40歳以上など低用量ピルが使いにくい患者にも使用できる。また、プロゲステロン作用が低用量ピルよりも強く、内膜症などの疼痛軽減効果は高い。副作用として太りやすくなることを気にする患者が一定数おり配慮が必要。不正出血は3ヶ月程度で減ってくることも多いが、若年で使用する場合は多くなることも想定され、レルミナを1.2ヶ月先行投与することもある。また、子宮内に器具を挿入することに抵抗感のない患者であればミレーナを使用可能で患者の費用負担もその方が少ない。

産婦人科 **R.N.**
シェアする

ベルケイド

専門医コメント

多発性骨髄腫におけるいわゆる「新規薬剤」のバイオニアであり、本剤の登場により骨髄腫診療は劇的に進歩した。当初は静注されていたが、現在は皮下注がほとんどである。皮下注のほうが末梢神経障害が軽減される。注射部位は赤く変色することが多いので、毎回部位を変更することが望ましい。リンパ腫にも効果が確認されており、適応範囲を広げている。重篤な肺障害をきたすことがあり、発熱・呼吸器症状のある時は、積極的に画像検査を行う。アゾール系抗真菌薬（特にITCZ）との併用で血中濃度が上昇し、末梢神経障害が増悪することがあり注意を要する。帯状疱疹予防のためアシクロビルの投与を行う。

血液内科・腫瘍内科 **kotubuki**
シェアする

ジスロマック

専門医コメント

15員環マクロライド系の抗菌薬で、蛋白合成の阻害を行うことで抗菌作用を発揮する。15員環系は14員環系と異なりCYP3A4は関与しない。小児の抗菌薬処方率としては依然高いが、耐性菌の増加が問題になってきている。宿主の細胞内への浸透性が高くマイコプラズマ等の細胞内寄生菌に効果が高い他、組織への移行性が高いことから副鼻腔炎等で良く使用される。耐性化が進んでおり近年では使用を控える傾向になってきているが、依然として処方が多い抗生剤である。ジスロマックは長時間体内に留まる作用があり、3日間服用することで効果が1週間持続する。

総合診療科 **DIO**
シェアする

ゼビュディ点滴静注液

専門医コメント

新型コロナウイルスSARS-CoV-2に対するIgGモノクローナル抗体薬。現時点で酸素不要で重症化リスクのある「軽症」「中等症 I」に適応がある。ウイルスの変異が起こりにくいアミノ酸配列が普遍的に保持されている部位（Sタンパクの332-361位）が抗体の標的として設計されており、今後出現するであろう新たな変異株に対しても高い中和作用が発揮できるのでは、と期待されている。そしてIgGの分解を抑制し、血中IgG抗体価の半減期を延長させるためにFc領域に人工的変異が挿入されており、6-8カ月の間、抗ウイルス作用が持続するものと考えられている。

呼吸器内科 **キョウト先生**
シェアする

2. 薬剤評価コメント投稿機能

処方実績のある薬剤に関して、ユーザーから評価コメントを投稿していただくことが可能となりました。専門医のコメントだけでなく、ユーザーからの処方実績を伴った生の声も反映させることで、薬剤に関する深く多様な理解につなげていく契機となることを想定しております。なお、本機能は医療従事者のみが使用可能な機能となります。（閲覧は全ユーザーが可能です）



■今後の機能アップデート予定

現在、「腎機能用量の記載」「お気に入り薬剤の登録機能」の開発を予定しております。

また、引き続きイシヤクが皆様にとって使いやすいアプリとなるよう、「1. 薬剤データの月次更新」「2. 新薬の適応拡大」「3. 各薬剤詳細画面の特徴文改善」について、継続的なメンテナンス・改善を続けてまいります。

※3. に関して、各薬剤詳細画面の特徴文に「特徴文の改善を提案する」というリンクを表示しております。お気づきの改善点がありましたら、ぜひお気軽にご提案ください。

■今後の見通し

今後とも JMDC グループは、医療従事者に向け当社固有のヘルスデータを用いたサービスの開発および提供を通じて、将来的には大きな価値につながるプラットフォーム規模となることを目指していきます。

【イシヤクとは】

今までの添付文書アプリは、主に薬剤師向けに作られていて、網羅性は担保されているものの医師にとって最も知りたい同効薬剤間の比較や力価を手軽に検索できませんでした。

「イシヤク」は「医師にとって最も使いやすい！」を目指して作られた**医師向け薬剤比較アプリ**です。

20,000 種類以上の薬剤の特徴を、医師の処方の観点から、他の薬剤との比較を主眼において簡潔に記しています。外来で忙しい合間でもパッと薬剤比較ができます。

なお、「イシヤク」に記載されている薬剤データは、データインデックス株式会社（JMDC



グループ）からの提供を受けて情報掲載し医師の監修を受けて制作しています。

iOS：

<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%82%A4%E3%82%B7%E3%83%A4%E3%82%AF/id1564870031>

Android：

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.flixy.ishiyaku>

【株式会社 flixy について】

2016 年に設立し、医療機関向けの WEB 問診サービスを提供しています。医療機関側で自由にカスタマイズ可能な WEB 問診と、全ての電子カルテにワンクリックで問診情報を連携する技術を有しています。2021 年 11 月現在、導入医療機関は 1,000 を超え、業界 No.1 のシェアです。また、患者向けの AI 受診相談アプリもリリースし、症状から病院検索、病院の問診まで一気通貫のサービスに取り組んでいます。

URL：<http://flixy.co/>

【株式会社 JMDC について】

医療ビッグデータ業界のパイオニアとして 2002 年に設立。独自の匿名化処理技術とデータ分析集計技術を有しています。6 億 5,000 万件以上のレセプトデータと 2,800 万件以上の健診データ（2021 年 3 月時点）の分析に基づく保険者向け保健事業支援、医薬品の安全性評価や医療経済分析などの情報サービスを展開しています。また、健康度の単一指標（健康年齢）や健康増進を目的とした Web サービス（Pep Up）など、医療データと解析力で健康社会の実現に取り組んでいます。

URL：<https://www.jmdc.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 JMDC 経営管理 広報担当

TEL：03-5733-5010

Email：jmdc-pr@jmdc.co.jp